



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 テンアライド 株式会社
 コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 飯田 永太
 (氏名) 加藤 慶一郎
 TEL 03-5768-7490

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,709	64.2	2,639		2,595		2,924	
2020年3月期第2四半期	7,573	0.0	41	189.3	47	122.6	15	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,921百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 8百万円 (92.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第2四半期	111.82	
2020年3月期第2四半期	0.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,473	1,485	19.9
2020年3月期	8,334	4,407	52.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,485百万円 2020年3月期 4,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	26,579,527 株	2020年3月期	26,579,527 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	426,734 株	2020年3月期	426,734 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	26,152,793 株	2020年3月期2Q	26,152,686 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令・延長により急速な景気の低迷が生じ、緊急事態宣言解除後も依然として感染拡大は収束しておらず、消費活動が著しく停滞しております。

外食産業においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた休業要請や外出自粛による来店客数の激減により極めて厳しい経営環境となっております。

このような状況下において、当社としては新型コロナウイルスの感染拡大防止のために政府・自治体からの各種要請等を踏まえて、一部の直営店について臨時休業を実施しております。また、営業を継続している店舗でも営業時間を短縮し、お客様と従業員の安全を最優先して衛生管理を徹底しております。緊急事態宣言の解除後においても、消費者ニーズや生活様式の変化を勘案して営業時間の調整を行っております。

また、店舗・事業所においてはインフルエンザやノロウイルス対策として従来より整備している体調管理を更に徹底しております。

加えて、こうした環境下においても外食のニーズは存在し、このような環境に適合する弁当等のテイクアウト販売を拡充すると共に、宅配サービスにも着手いたしました。また、セントラルキッチンオリジナル製造品の外部販売（楽天による通信販売、ホームページからの通信販売、セントラルキッチン敷地内の「天狗こだわりマーケット」による直接販売）の実施等により、本格的に小売業への進出の第一歩を踏み出しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期比35.8%の27億9百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費を削減したものの、売上減の影響により、営業損失は26億39百万円（前年同期は営業利益41百万円）、経常損失25億95百万円（前年同期は経常利益47百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は29億24百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における当社の店舗数は、「旬鮮酒場天狗」19店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」含む）」32店舗、「テング酒場（「立呑み神田屋」「ミートキッチンlog50」含む）」58店舗の合計109店舗であります（内フランチャイズ2店舗）。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて8億61百万円減少し、74億73百万円となりました。この主な要因といたしましては、その他流動資産が1億95百万円増加したのに対して、現金及び預金が1億63百万円、有形固定資産が2億67百万円、敷金及び保証金が5億50百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて20億60百万円増加し、59億87百万円となりました。この主な要因といたしましては、新規借入により短期借入金が20億円、その他流動負債が1億25百万円増加したのに対し、買掛金が49百万円、1年内返済予定の長期借入金が50百万円減少したことによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて29億21百万円減少し、14億85百万円となりました。この主な要因といたしましては、利益剰余金が29億24百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、各種諸施策を実施しておりますがその成果を合理的に算出することが困難であるため、現時点においては業績に与える不確定要素が多く、業績予想を合理的に算定することが困難であります。そのため、2021年3月期の業績予想は未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,449,588	1,286,555
売掛金	117,124	86,586
たな卸資産	190,233	170,628
その他	393,411	589,001
貸倒引当金	△29,282	△26,782
流動資産合計	2,121,074	2,105,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,759,635	7,341,736
減価償却累計額	△6,324,058	△6,090,597
建物及び構築物(純額)	1,435,576	1,251,138
機械及び装置	1,240,854	1,188,033
減価償却累計額	△996,833	△953,942
機械及び装置(純額)	244,021	234,091
工具、器具及び備品	1,894,579	1,754,633
減価償却累計額	△1,559,994	△1,495,103
工具、器具及び備品(純額)	334,584	259,530
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	-	1,720
有形固定資産合計	2,259,285	1,991,584
無形固定資産	84,526	60,573
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,719,648	3,169,318
その他	153,880	149,293
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	3,869,928	3,315,011
固定資産合計	6,213,740	5,367,169
資産合計	8,334,814	7,473,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	230,568	181,079
短期借入金	500,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	50,000
未払法人税等	77,168	116,609
店舗閉鎖損失引当金	18,183	30,048
その他	1,506,492	1,631,697
流動負債合計	2,432,412	4,509,434
固定負債		
退職給付に係る負債	1,130,672	1,145,585
役員退職慰労引当金	18,026	20,747
資産除去債務	116,178	116,484
その他	230,482	195,621
固定負債合計	1,495,359	1,478,439
負債合計	3,927,772	5,987,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,257,201	5,257,201
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	△2,089,131	△5,013,633
自己株式	△161,816	△161,816
株主資本合計	4,326,253	1,401,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,880	21,099
土地再評価差額金	70,295	70,295
退職給付に係る調整累計額	△10,386	△7,860
その他の包括利益累計額合計	80,788	83,533
純資産合計	4,407,042	1,485,283
負債純資産合計	8,334,814	7,473,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	7,573,375	2,709,259
売上原価	2,055,969	939,354
売上総利益	5,517,406	1,769,905
販売費及び一般管理費		
人件費	2,947,204	2,327,487
退職給付費用	67,528	59,850
地代家賃	1,019,237	956,754
その他	1,442,240	1,065,708
販売費及び一般管理費合計	5,476,210	4,409,800
営業利益又は営業損失(△)	41,195	△2,639,895
営業外収益		
受取利息	58	21
受取配当金	2,956	3,260
受取賃貸料	2,859	2,669
固定資産受贈益	1,731	2,136
受取事務手数料	2,632	1,495
貸倒引当金戻入額	3,000	2,500
雇用調整助成金	-	47,927
その他	9,260	5,282
営業外収益合計	22,499	65,293
営業外費用		
支払利息	9,169	18,198
その他	6,915	3,091
営業外費用合計	16,084	21,290
経常利益又は経常損失(△)	47,609	△2,595,892
特別利益		
新株予約権戻入益	645	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2,837	4,187
特別利益合計	3,482	4,187
特別損失		
固定資産除却損	1,401	1,934
減損損失	10,565	268,751
店舗閉鎖損失	18,114	10,813
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,463	30,048
固定資産処分損	10,911	1,692
その他	248	-
特別損失合計	42,704	313,240
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,388	△2,904,946
法人税、住民税及び事業税	24,661	20,273
法人税等調整額	△556	△717
法人税等合計	24,104	19,556
四半期純損失(△)	△15,716	△2,924,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,716	△2,924,502

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△15,716	△2,924,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,540	218
退職給付に係る調整額	10,811	2,525
その他の包括利益合計	24,352	2,744
四半期包括利益	8,635	△2,921,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,635	△2,921,758
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,388	△2,904,946
減価償却費	224,370	194,383
固定資産処分損益(△は益)	10,911	1,692
減損損失	10,565	268,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△2,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,517	17,439
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△1,663	11,864
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	661	2,721
受取利息及び受取配当金	△3,015	△3,281
受取賃貸料	△2,859	△2,669
支払利息	9,169	18,198
有形固定資産除却損	1,401	1,934
売上債権の増減額(△は増加)	31,932	30,537
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,309	19,605
その他の流動資産の増減額(△は増加)	10,146	△198,490
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,552	△49,489
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,766	△59,376
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△101,032	351,459
その他	58,403	263,117
小計	213,268	△2,039,046
利息及び配当金の受取額	3,020	3,288
賃貸料の受取額	2,922	2,669
利息の支払額	△9,169	△18,198
法人税等の支払額	△16,385	△3,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,656	△2,054,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△197,199	△225,060
無形固定資産の取得による支出	△8,991	-
長期前払費用の取得による支出	△10,237	△8,950
資産除去債務の履行による支出	△17,618	△40,958
敷金及び保証金の差入による支出	△28	△13
敷金及び保証金の回収による収入	94,563	283,656
その他	△10,911	△1,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,423	6,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△120,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△73,803	△65,590
自己株式の売却による収入	351	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,452	1,884,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△150,219	△163,032
現金及び現金同等物の期首残高	1,421,595	1,349,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,271,376	1,186,555

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、わが国においても緊急事態宣言が発令され、その解除以降も感染の二次拡大が生じたことにより、当社グループの事業活動にも大きな影響を及ぼしております。今後も当社グループの事業に影響が及ぶことが想定されますが、その影響の収束の見通しにつきましては、当第2四半期の状況等を踏まえ、2021年度にかけて影響が継続するものと想定を見直しました。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用に当たっての会計上の見積りを行っております。

なお、上述の仮定は現時点の判断であり、今後の状況次第では見直しの可能性があります。